

(一社)日本塗料工業会登録  
<http://www.toryo.or.jp/>

登録番号 S08087

放散等級区分表示 F☆☆☆☆

S  
H  
I  
N  
T  
O

U

「非トルエン・キシレン塗料」  
1液水性アクリルウレタン樹脂塗料

シントー水性  
グランツUP

P

G  
R  
A  
N  
Z

上塗り



ローラー対応



エアレス対応



神東塗料

1液水性アクリルウレタン樹脂塗料

# シントー水性グラッツ UP

シントー水性グラッツUPは、

高耐候性水性アクリルウレタン樹脂を配合することにより、

高光沢と低汚染性を実現させた

1液水性アクリルウレタン樹脂塗料です。

耐候形2種相当の性能を持ち、

溶剤形アクリルウレタン樹脂系上塗りに匹敵する優れた

性能を発揮する 上塗り塗料です。

## 特 長

- 溶剤形上塗材と同レベルの光沢を有します。
- 耐久性の優れた樹脂を使用し成膜助剤をコントロールすることで、水性としては優れた耐汚染性を発揮します。
- 樹脂組成をコントロールすることで従来の水性ウレタン系上塗材では得られない艶やかな塗膜外観を実現しました。
- 独自の樹脂配合技術により、耐候形2種相当を実現しました。

## 用 途

- 集合住宅、戸建てなどの内外装
- 公共施設などの内外装
- 物流倉庫、工場などの内外装
- 店舗などの内外装

## 適用下塗等

- 下塗  
「シントー水性Mシーラー」、  
「リフレッシュプライマー」等
- 主材  
「ライトリフレ」、「リフレエース」、  
「スーパーリフレエース」、  
「シントーダンエポ」等

## 適用下地等

- モルタル、コンクリート、フレキシブルボード、石こうボード等  
各種複層仕上塗材や可とう形改修用仕上げ塗材の上塗として  
(弾性塗材を除く)

# SHINTO GRANZ UP

## 荷 姿

■ 15kg・4kg

## 色 相

■ 白、淡彩色、中彩色、濃彩色

※ただし、鮮やかな濃彩色の調色は困難な場合がありますので、事前に弊社にご相談ください。

## 塗 装 仕 様 例

### ■ 新 設 例

工 程	塗料名(希釈剤)	希釈率(%)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(20℃)	塗装方法
素地調整	被塗面のごみ、汚れ、脆弱部を除去し、含水率10%以下(デジタル式水分計の場合は5%以下)、pH10以下とする。					
下 塗	各種複層仕上塗材の標準塗装仕様に基づく下塗材を使用する。					
主 材 塗	各種複層仕上塗材の標準塗装仕様に基づく主材を使用する。					
上 塗 - 1	シント-水性グランツUP(水道水)	5~10 (10~20)	0.15~0.20 (0.15~0.25)	1	3時間~7日	中毛ローラーはけ (スプレー)
上 塗 - 2	シント-水性グランツUP(水道水)	5~10 (10~20)	0.15~0.20 (0.15~0.25)	1	—	中毛ローラーはけ (スプレー)

### ■ 改 修 例 (窯業系サイディングボード面)

工 程	塗料名(希釈剤)	希釈率(%)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(20℃)	塗装方法
素地調整	ボードのクラック等は適切な処置を行う。 既存塗膜の脆弱部分を完全に除去し、高圧水洗にてほこり、汚れ、チョーキング層の除去を行い、よく乾燥させる。					
下 塗	リフレッシュプライマー(水道水)	3~10	0.10~0.15	1	16時間~7日	中毛ローラーはけ
上 塗 - 1	シント-水性グランツUP(水道水)	5~10	0.15~0.20	1	3時間~7日	中毛ローラーはけ
上 塗 - 2	シント-水性グランツUP(水道水)	5~10	0.15~0.20	1	—	中毛ローラーはけ

### ■ 改 修 例 (吹付けタイル面)

工 程	塗料名(希釈剤)	希釈率(%)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(20℃)	塗装方法
素地調整	高圧水洗等で被塗面の劣化塗膜や汚染物を除去し十分に乾燥させる。旧塗膜剥離面は、主材にて補修を行う。					
主 材 塗	リフレエース(水道水)	4~6	0.25~0.45	1	8時間~7日	中毛ローラー
		1~5	0.8~1.2		16時間~7日	多孔質ローラー
上 塗 - 1	シント-水性グランツUP(水道水)	5~10	0.15~0.20	1	3時間~7日	中毛ローラーはけ
上 塗 - 2	シント-水性グランツUP(水道水)	5~10	0.15~0.20	1	—	中毛ローラーはけ

※下地の吸い込みが大きい場合は、主材塗りの前に「シント-水性Mシーラー」等のシーラーを塗装してください。

# 試験成績

JIS K 5660:2008 つや有合成樹脂エマルジョンペイントに準じる

項目	品質	結果	備考
容器の中での状態	硬い塊がなくで一様になる。	合格	
塗装作業性	支障がない。	合格	2回塗りで、はけ塗りで塗装作業性に支障がない。
塗膜の外観	正常である。	合格	塗膜の外観が正常である。
低温安定性(-5℃)	変質しない。	合格	
表面乾燥性	常温乾燥	2時間以内で表面乾燥する。	45分
	低温乾燥	4時間以内で表面乾燥する。	90分
隠ぺい率%【白色及び淡彩色 <sup>a)</sup> 】	95以上	98	
鏡面光沢度(60度)	70以上	84	
耐水性	異常がない。	合格	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗膜に異常がない。
耐アルカリ性	異常がない。	合格	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗膜に異常がない。
耐洗浄性	洗浄に耐える。	合格	1000回の洗浄に耐える。
耐湿潤冷熱繰返し性	湿潤冷熱繰返しに耐える。	合格	試験サイクル7回のとき光沢保持率80%以上で、耐湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。
促進耐候性	光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1又は0で、色の変化の程度が見本品に比べて差がない。	合格	
屋外暴露耐候性	白亜化の等級が2、1又は0で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて差がない。	合格	

注a) 淡彩色とは、白エナメルを主成分として作った塗膜に現れる、灰色、ピンク、クリーム色、薄い緑色、水色などのような薄い色で、JIS Z 8721による明度Vが6以上9未満のものをいう。

## 取り扱いに関する一般的な注意事項

### ■ 調 合

1. 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するよう心がけてください。
2. 塗料は使用する前に十分攪拌を行い均一な状態にして使用してください。
3. 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。

### ■ 塗 装

1. 気温5℃以下、湿度85%以上のときは塗装を避けてください。  
低温時には乾燥遅延となり高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
2. 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
3. 低温時の塗装において、強アルカリ性の下地は、条件によりエプロレッセンスが発生する可能性があります。  
このような場合には対策としてシーラー等による処置をご検討ください。
4. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
5. コンクリート、モルタル面への塗装で含水率10%以上(デジタル式水分計の場合は5%以上)、pH10以上の場合、塗装を避けてください。
6. 使用した塗装器具類は直ちに水洗いしてください。
7. 「シントー水性Mシーラー」等のカチオン形シーラーを使用した塗装器具等を使用する場合は、十分洗浄してからご使用ください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

8. 施工部位などにより、低汚染性が十分に発揮されない場合がありますので、ご注意ください。

建物の構造上水切りがない場合、汚れが多量に集まりやすい面、窓廻り、換気扇ダクト廻り、雨のかけが少ない場所など。鉄さびやシーリング材などに由来する汚染物質がある場合。

### ■ 緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、清浄な空気の中で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

### ■ 廃 棄

1. 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。

### ■ 保 管

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。



くらしゆたかにあざやかに未来を創造するコーティング

# 神東塗料

本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号  
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199

東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813

東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553

静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

北 陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315

名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318

大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268

中 国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

四 国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108

九 州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。